



OVERWATCH®

BILZARD
ENTERTAINMENT

第1話
(全5話)

トレーサーの“ロンドン・コーリング”



MARIKO TAMAKI
BABS TARR



はじめに.....

このコミックは元々のアートワークの形状を尊重し、英語版のフォーマットで制作されています。読み進める際は、ページ左上のコマから右へとお楽しみください。

トレーサーの “ロンドン・コーリング”



第1話 (全5話)

オーバーウォッチが解体されて幾年月、世界は悪事にあふれ、私利私欲を求めんとする者たちによって脅かされていた。“オムニック”と呼ばれる知覚と知能を持つロボットたちは、オムニック・クライシス以来数十年もの時が経った現在も不当な扱いに苛まれていた。世界は再びヒーローを求めている。そしてヒーローはいつでも、思いもよらないところから現れるのだった。

作者 *MARIKO TAMAKI* 日本語翻訳 *NOZOMI OSHIMA* アート *BABS TARR*
レイアウト *HUNTER CLARK* 着色 *RACHAEL COHEN* 活字デザイン *DERON BENNETT* カバー *BENGAL*

DARK HORSE COMICS

プレジデント&パブリッシャー *MIKE RICHARDSON* シニア・エディター *PHILIP R. SIMON* アシスタント・エディター *JOSHUA ENGLEADOW*
デザイナー *PATRICK SATTERFIELD* デジタルアートテクニシャン *ADAM PRUETT*

BLIZZARD ENTERTAINMENT 編集チーム

リード・エディター *CHLOE FRABONI, PAUL MORRISSEY* プロダクション *BRIANNE MESSINA, DEREK ROSENBERG, FELICE HUANG*
ディレクター、コンシューマープロダクト *BYRON PARNELL* 装丁アート&デザインマネージャー *BETSY PETERSCHMIDT*
クリエイティブコンサルタント *JEFF KAPLAN, MICHAEL CHU, JEFF CHAMBERLAIN, ARNOLD TSANG, GEORGE KRSTIC, ALYSSA WONG, SEAN COPELAND, MADI BUCKINGHAM*



スペシャルサンクス *DAVID SEEHOLZER*

DarkHorse.com Facebook.com/DarkHorseComics Twitter.com/DarkHorseComics

Overwatch® © 2020 Blizzard Entertainment, Inc. All rights reserved. Overwatchは米国およびその他の国におけるBlizzard Entertainment, Inc.の商標です。Blizzard Entertainmentは米国およびその他の国におけるBlizzard Entertainment, Inc.の商標または登録商標です。Dark Horse Comics®およびDark Horseのロゴは、各カテゴリーおよび各国におけるDark Horse Comics LLCの登録商標です。すべての権利はその権利者が所有します。本作品のいかなる部分についても、いかなる手段によっても、Dark Horse Comic LLCの書面による許可なく複製または送信することを禁じます。本作品に登場する名前、キャラクター、場所、出来事は、著者の想像による産物または架空のもので、実在する人物（存命中または故人）、出来事、団体、場所に類似するいかなる描写も、風刺的な意図はなく、偶然によるものです。



私はレナ・オクストン。
またの名は“トレーサー”

こう見えて“ヒーロー”
なんて呼ばれてたこと
もあるんだ

世界一の称号だよ

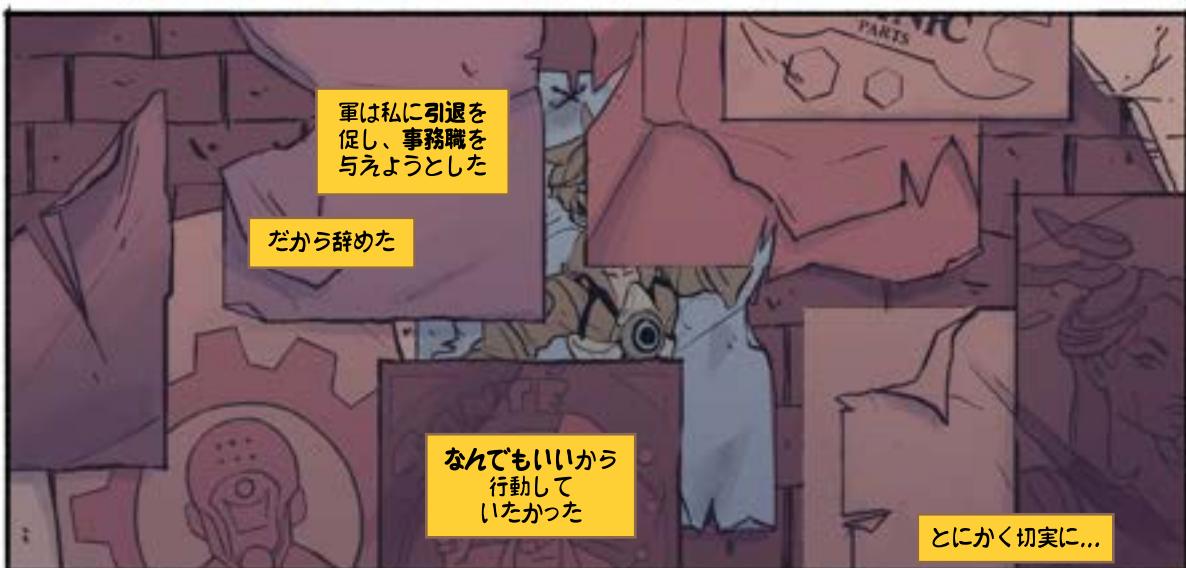


だけどペトラス法が成立し、
オーバーウォッチが解散
した後...

...しばらくは
自分を
見失ってた

英国空軍で
身を立ようとして
もしたけど

思うようには
いかなくて



軍は私に引退を
促し、事務職を
与えようとした

だから辞めた


なんでもいから
行動して
いたかった

とにかく切実に...

現在——イングリランド、ロンドン

...駆け回って





助けてくれ!

心配ご無用!
私に任せて!



誰か!



泥棒!

今の...
トレーサー?



そんな訳で、
今は手の届く範囲
だけど

結構忙しく
してるんだ



待ってて

ちょっとした
人助け

エミリーに言わせれば
"英雄の気晴らし"
ってことだけど

ヤッホー!

な、なんだ
...!?

いただき!

GRAB

はい、どうぞ!
無事にお届け!

助かったよ!

すごいな、本物だ!
ポスターで見た
まんまだ!

あなた
トレーサーよね!

まあ、
今はレナ
だけどね





ともあれ、今は
パートタイムのヒーロー
ってところかな

それはそれで...

CRASH



止まりなさい!

止まりなさい!

ボット
どもだ!

?

EMPIRE RECORDS
SINCE 1977



警察も一体
何やってんだか

ほんと。
これで今月
3回目じゃ
ない?



ところでオムニック
ちゃん?君はそこで
何してるのかな?

お巡りさん!
こっちにも
いたぞ!



お巡りさん!
あそこ!

うわ!

そう言えば
お使い
頼まれて
たんだった

逃がさ
ないよ!

コレ、
もううね





お願い。送電網に
この変調器が必要
なんだ。誰も
あたしうなんに
売ってくれない



"あたしら"?

オムニックさ

どうして?

だって...
ポット
だからさ



ところでそれ、
クラッシュの
名盤じゃない

クラッシュ
分かるの?

そりゃ当然、
ラモーンズ
のほうか
クールだけど



じゃあさ、
好きな
バンドは?

ストゥージズ、
ラモーンズ、
ビートルズ



私はレナ

イギー



ねえ、あたしの
コレクション
見に来ない?



ようこそ...
アンダーワールドへ

うわあ

オムニックがゼロ
から築き上げたんだ

地下に
オムニックが
こんなにいたなんて...
確かにチューリング。
グリーンは...

災難だった?



ここも災難っつゃ災難
だけだね。ガラクタで
できてる割にはいい
感じてしょ?

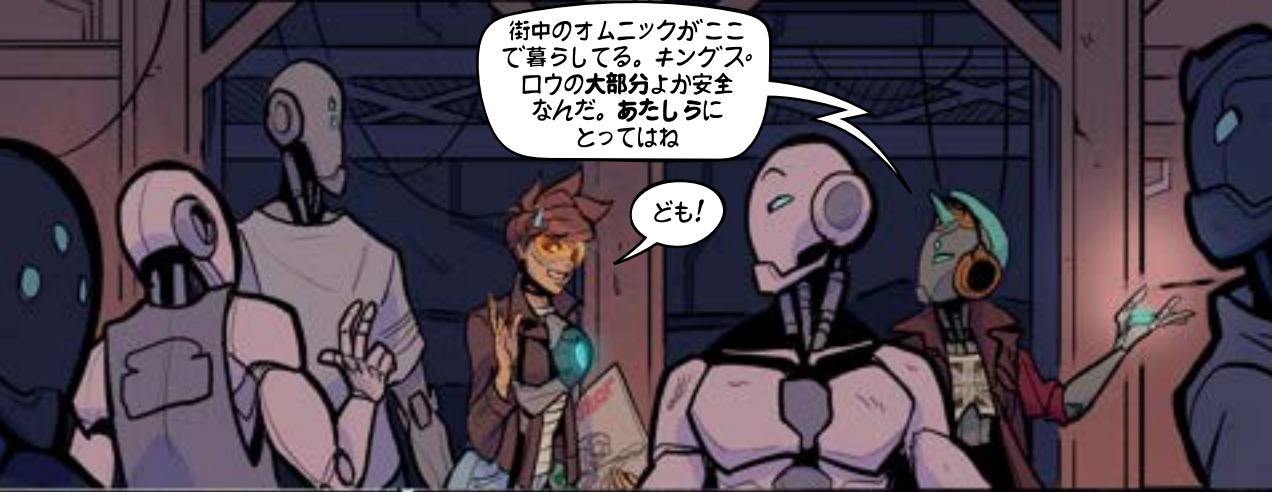


うん



トンネルの一番奥
まで行けばそんなに
暗くないよ

なんたって、
あたしが
明るいから!



街中のオムニックがここで暮らしてる。キングスロウの大部分よか安全なんだ。あたしにとってはね

ども!



あたしにとっちゃ、盗みは命綱であら死

本当はそんな事したくないんだけど...



これが件の送電網

すごい!

こいつがアンダーワールドに電気を供給し、みんなを繋げてる。おかげで絆が強いだ。まあ、コレ自体は壊れかけなんだけど



でもそうするしかないんだね?

まあ、そういうこと



心の準備はいい? あたしと仲間たちの部屋だよ!

うん!



ジャーン!

レナ、レディと
リズィだよ

よろしく

うわあ~!

何これ、
スッゴイ!



1960年のビートルズ
のポスター!

ヴィンテージ
レコード!



気に入った?

もうクラクラ
しちゃう!

この価値が
ちゃんと分かる人に
出会えるなんて、
嬉しいもんね
オムニック
の中には
そういないの



このアルバム、
10歳の誕生日に
£60で買った
んだよなあ

人間の音楽
には魂が
あるよね!

オムニツクの
音楽も悪く
ないよ

あんなの
音楽じゃ
ないね

生意気言う
んじゃないの



これ、誰の
ヘッドフォン?



あたしの

研究所で働いて
いた時、同僚の
人間がくれたんだ



あたしにとって初めての
音楽、イギー・ポップの
"ラスト・フォー・ライフ"を
教えてくれたのも彼女だった



あなたも
聴いて!最高
じゃない!?



いい話
だね



エミリーに
電話して

遅くなっちゃった、
ごめん! パブに
行かない?
今から...

ごめんね。
かけなおす

つけて
きたの?

何の用があって
アンダーワールド
に来たのか、
聞かせてもらう。
捕まえろ

誰を捕まえるって？

どこの誰だか知らないけど、私はあなたに捕まる気はないの。家に帰らせてもらうよ。平和的にね

お願いだから、そうさせて



無言ってことは
...やっぱり
"ダメ"ってこと
ね？



撃て！



KAK
KAK KAK



ねえ、ちょっと
訳が分から
ないよ

うわ！



あなたたちを
傷つけたくない！
傷つけるわけ...



CLICK
CLICK

よし

いったん
下がって、
これではどう？

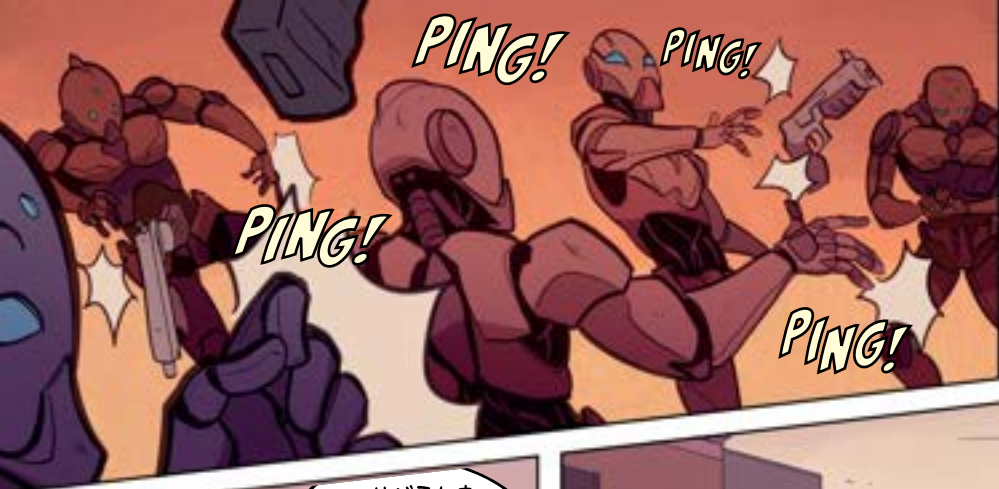
それと、これ、
借りるね

友達が
助けを
求めているの

私と友達を
引き裂こうつ
たって、もうは
させないよ！

PEW PEW PEW

もう終わり
にしよう



PING!

PING!

PING!

PING!



KLAK

KTAK



一体どうした
っていうの?
オーバーウォッチに
関係があるの...?
お願い、あなたたちの
こと誰も傷つけたく
ないの



アンダーワールド
に関わるな



かにな
いたいの



オムニツクに人間
の力など無用だ。
それがレナ。
オクストンで
あっても

これで
終わりでは
ない

TO BE CONTINUED



次回

オムニックの送電網の修復に必要な部品を探すトレーサーの前に現れたケイスとモンデッタ。共にオムニックのリーダーでありながら、人間を一切信用しないケイスに対し、モンデッタは人間とオムニックが平等に生きるという理想を追い求める。ところがモンデッタの集会に足を運んだトレーサーは、それがあまりにも儂い夢であることを知るのだった。